

歯科材料 5 歯科用接着充填材料  
管理医療機器 歯科用ポリカルボキシレートセメント 16705002  
**ハイ - ボンド テンポラリーセメント ソフト**

**\*【禁忌・禁止】**

- 1) 本材又はポリカルボキシレートセメントに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- \* 2) 本材又はポリカルボキシレートセメントに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。

**\*【形状・構造及び原理等】**

[構成]

構成	性状	成分
粉	粉	酸化亜鉛、シリカ、酸化マグネシウム、着色材、HY材、その他
液	液	アクリル酸-トリカルボン酸共重合体ナトリウム塩、精製水、その他

\*粉の色調：ホワイト、ピンク

[原理]

酸化亜鉛、酸化マグネシウムとアクリル酸-トリカルボン酸共重合体水溶液との酸-塩基反応により硬化します。

**【使用目的又は効果】**

本材は欠損補綴物の仮着又は窩洞の仮封、裏装に用いる。

**\*【使用方法等】**

[使用方法]

- 1) 粉液の比率  
粉:液=2.2g : 1.0g（粉量計1杯:液2滴）の割合で練板上に採取します。
- 2) 練和  
粉と液を紙練板又はガラス練板上に採取し、粉を2等分し液の中へ1/2加えスパチュラで15秒～20秒間練和し、残りの粉1/2を加えて同様に練和します。練和時間は45秒以内とします。
- 3) 仮着・仮封  
練和物は直ちに仮着、仮封、裏装等に用います。
- 4) 硬化及び修正  
仮着又は仮封後は約8分間その部位に唾液が触れないように保ち、硬化後余分の硬化物を通法に従い除去します。
- 5) 除去  
本材は、主に暫間用接着充填材料で永久修復物完了後に除去します。

[使用方法に関連する使用上の注意]

- \* 1) 粉を採取する際は、付属の粉量計を用いてすり切ることにより計量すること。
- \* 2) 液を採取する際は、容器を逆さにして気泡を抜いてから計量すること。
- 3) 正しい計量のために、液容器のノズルに付着した液は、湿ったガーゼなどで拭き取ること。
- 4) 粉及び液の容器は、使用后すぐに密栓すること。特に粉は、湿気に触れないように注意すること。
- 5) 永久補綴物の仮着は、はずせなくなることがあるので使用を避けること。
- 6) 仮着や仮封に使用する場合は、歯面を乾燥させずに濡れた状態で行うこと。
- \* 7) 露髄又は窩洞が歯髄に近接した場合は、水酸化カルシウム製剤等を用いて歯髄保護を行うこと。

**\*【使用上の注意】**

[重要な基本的注意]

- \* 1) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- \* 2) 本材の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- \* 3) 粉、液又は練和物との接触による過敏症を防ぐため、医療用（歯科用）手袋及び保護眼鏡の着用等の防護措置を執ること。また、口腔軟組織や皮膚に付着した場合には、すぐにアルコール綿等で拭いた後、大量の流水で洗浄すること。
- \* 4) 粉、液又は練和物が万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。
- 5) 本材は遊離シリカを含有します。遊離シリカは、長期にわたって吸入すると肺が損傷される可能性があります。粉塵による人体への影響を避けるため、局所吸塵装置、公的機関が認可した防塵マスクなどを使用すること。


**【保管方法及び有効期間等】**

[保管方法]

- ・本材は、高温、多湿、直射日光等を避けて、室温（1～30℃）で保管すること。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

[有効期間]

本材の使用期限は包装に記載のとおり。  
[当社データによる]

※(例)  YYY-YY-MM-DD は→使用期限 YYY年 MM月 DD日を示す。)

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者 株式会社 松風  
住所 〒605-0983  
京都市東山区福稲上高松町1-1  
電話番号 075-561-1112